覚えておきたいオフィス・ビジネス情報のキホン（第6回）

テレワーク時代の【ビジネスフォン】とは？ 仕組みや機能、PBXとの違いを解説

2022.09.30

「ビジネスフォン」とは、企業のオフィス（拠点）などに設置する法人用の電話システムのことです。複数のチャンネルや電話番号を共有して、多くの外線・内線通話が同時にできる点が特徴となっています。

この記事では、ビジネスフォンの仕組みや機能だけでなく、ビジネスフォンと混同されることが多い「PBX」の特徴についても幅広く解説します。また、テレワーク・リモートワークが定着してきた現代に適合するビジネスフォンシステムについても紹介します。より便利に、効率よく使える法人向けの仕組みについてまとめました。

目次
・ビジネスフォンの基本的な仕組み
・ビジネスフォンがもつ機能
・ビジネスフォンとPBXとの違い
・コロナ禍が企業のビジネスフォン運用にもたらした変化とは？
・テレワーク・リモートワーク環境でビジネスフォンを有効活用する方法
・まとめ

ビジネスフォンの基本的な仕組み

ビジネスフォンは、「主装置」と呼ばれる機器（1台）と、それにひもづく専用の電話機（複数台）の組み合わせで構成されます。回線に入ってくる電話を主装置で制御して、多くの電話機で受けられるようにするために必要な機器です。

ビジネスフォンの主装置とは？

では、ビジネスフォンの要となる「主装置」とは、いったいどのようなものなのでしょうか？ 主装置は、電話回線と電話機の間にある制御装置のようなものを示します。外部からかかってきた電話を各電話機に割り振ったり、内線通話をつないだりする役割を担います。この主装置があるからこそ、代表番号にかかってきた電話を複数台の電話機で同時に受けたり、転送したりすることができるのです。

多くの主装置はプラスチック製の箱のような外観で、中にユニットと呼ばれる基盤が設置されています。ユニットには、電源ユニット、外線接続ユニット、内線接続ユニット、留守番電話や受付電話などの制御ユニットなどがあり、それぞれの役割を

もっています。これらのユニットが組み合わされることではじめて主装置として機能する仕組みです。

なお、主装置は、電話機に対応したものでないと正しく作動しません。よって、原則主装置と電話機は同じメーカーでそろえ、「主装置だけを買い替える」「電話機だけを買い替える」という場合は、事前に通信事業者などに確認を取るようにしましょう。

ビジネスフォンがもつ機能… 続きを読む